

め、教育に携わっている職員や関係者に対し、視聴覚教材の操作や視聴覚教材の作成など、その効果的な活用について専門的な研修を行う。

(2) 期日、会場、参加者

- ① 期 日 昭和59年 8月23日～8月25日
- ② 会 場 福島県教育センター
- ③ 参 加 者 県市町村職員、県市町村教育委員会職員、社会教育指導員、公民館職員、図書館職員、視聴覚センター・ライブラリー職員、その他の社会教育関係施設職員、青少年関係施設職員、各種団体の関係者

(3) 講師・助言者

- 宝仙学院短期大学講師 中 沢 茂 夫
- 福島大学教育学部教授 島 田 啓 二
- 映写機製作会社技術者 相 沢 弘
- 〃 渡 辺 要 司
- V T R 製作会社技術者 菊 田 恒 芳
- 福島県教育センター経営研究部 山 田 明
- 〃 植 田 守
- 福島県教育庁社会教育課員

(4) 研修内容

- ① 講 義
 - 「映画の教育的利用と今後の動向」
 - 「映写機の構造、点検及び操作」
 - 「社会教育における視聴覚教材の機能・役割」
 - 「社会教育における放送利用の企画・評価」
- ② 講義と実習
 - 「映画フィルムの取り扱いと接合」
 - 「TVカメラとV T R の効果的利用法」
 - 「O H P の特性と利用・O H P 教材の作り方」
 - 「フィルムフォーラムのあり方」
- ③ 研究協議
 - 「視聴覚センター・ライブラリーの整備充実と教材利用について」

9 くらしに生かす放送利用研究集会

(1) 趣 旨

複雑に変化する社会の中で、人々は自己の啓発や生活の向上をめざし、豊かな学習機会を求めている。このような状況に対応するため、社会教育における放送利用学習のあり方について研究をすすめ、生涯教育の推進に資する。

(2) 期日、会場、参加者数

集 会 名	期 日	会 場	参加者数
浜 通 り	7月10日	双葉町役場	122名
中 通 り	9月14日	郡山市視聴覚センター	161名
会 津	11月14日	田島町中央公民館	131名

(3) 参加対象

市町村の社会教育関係者、P T A、学級講座・自主学習グループの学習者、放送利用学習に関心のある者など。

(4) 講師、指導者、助言者

- ① 講 師
 - 浜通り集会 宮城教育大学教授 雪 江 美 久
 - 中通り・会津集会 全国視聴覚教育連盟事務局長 関 口 勇
- ② 指 導 者
 - 浜通り集会 双葉町公民館係長 浪 江 安
 - 中通り集会 古殿町公民館主事 菅 井 洋 子
 - 会津集会 田島町社会教育指導員 阿久津 アヤ子
- ③ 助 言 者
 - 開催市町教育委員会社会教育担当者、自主学習グループ代表者、福島県教育庁社会教育課員、同教育事務所員

(5) 内 容

- ① オリエンテーション
 - 「各方部の研究集会のねらいとすすめかたについて」
- ② 公開学習・研究協議
 - 「魅力ある学習をすすめるために、放送をどう利用したらよいか」について、放送利用研究委託学級による学習活動公開と公開学習をうけての研究協議
- ③ 講 演
 - 「これからの生涯学習と放送の利用について」をテーマとする講演

10 福島県視聴覚ライブラリー研究協議会

(1) 趣 旨

社会の著しい発展にともない視聴覚教育の果たす役割はますます重要性を加えつつあるが、その一層の振興を図るため、当面する諸方策の実践について総合的に研究し、さらに情報の交流をはかり、視聴覚教育の振興に資する。

(2) 期日、会場、参加者

- ① 期 日 昭和59年11月19日～20日
- ② 会 場 柳津町月見ヶ丘町民センター
- ③ 参 加 者 市町村教育委員会社会教育関係職員、公民館職員、視聴覚センター・ライブラリー関係職員、幼・小・中・高校教職員

(3) 講師、発表者、助言者

- ① 講 師
 - 学習研究社情報機材事業本部長 大 橋 圭 介
- ② シンポジウム発表者
 - 山都町立第一中学校教諭 齋 藤 昭 三
 - 会津高田町高田公民館主事 室 井 光 男
 - 南会津広域市町村圏組合ライブラリー 舟 木 隆
- ③ 助 言 者
 - 福島県教育庁社会教育課員
 - 〃 会津教育事務所員
 - 〃 南会津教育事務所員

(4) 内 容

- ① 研究主題
 - 「生涯学習を効果的にすすめるため、視聴覚教材をど